

船橋非常通信連絡会ニュース

オンエア・ミーティング 週1回 日曜 21:00～ 432.76 MHz

第82号-2/2

混信なら down QSY JJ1YNA HP <http://www.jarl.com/jjlyna/>

2019 March

JJ1YNA 第9回 ウォーキングFOXハンティング(練習会)

通算第9回目の練習会が海老川近くの空き地をスタートして以下のようなスケジュール、探索範囲で開催されました。

【スケジュール】

2019年3月9日(土)

09:30 集合

10:00 FOX 電波発出/参加者FOX探索開始

11:30 FOX 電波停止/探索終了

12:00 反省会及び懇親会 サイゼリア船橋芝山店(自由参加)

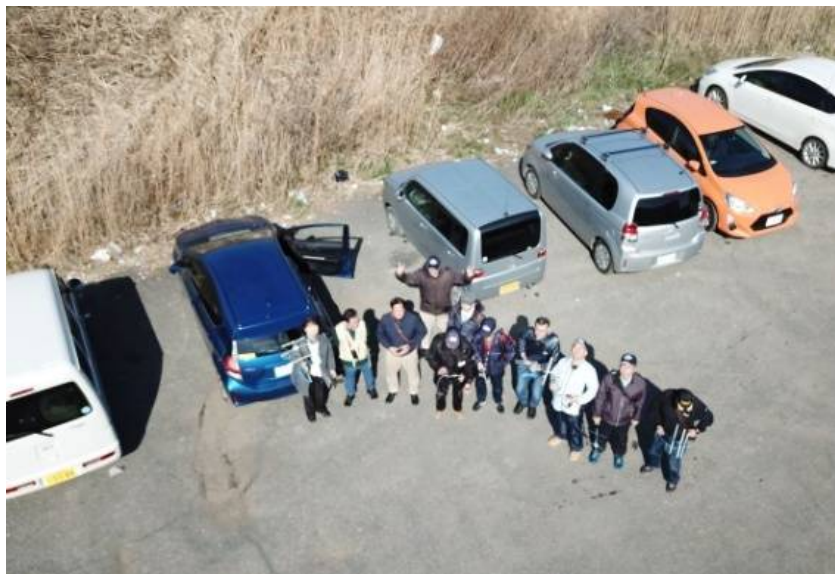
【今回の探索エリアとFOXの場所】



今回のスタート場所および探索エリアは、第1回練習会と全く同じ場所での開催で、前回は2mでしたが、今回は430MHzでの練習会です。第1回の送信出力が超微弱の15mWに対し、今回は430MHz 0.8Wと出力を大幅にUPしました。

今回のスタート場所周辺は、市街地から少し離れた様子を持つ空き地で、JJ1YNAメンバーがアンテナの調整や、ちょいとした移動運用で良く使う場所で船橋市の中心部に近い場所でありながら、ラジコン飛行機、ヘリコプターや最近流行りのドローン飛行が国土交通省での許可が不要な場所です。

練習会当日はラジコンヘリコプターを練習しているグループもありましたし、私もドローンで皆さんの写真を撮りました。スタート場所周辺は見通しがよく高低差がありませんが、北部には東葉高速鉄道の高架橋が、海老川西部には住宅地が、南部にはカーディーラーの建物類、東部にはちょいとした高台があり、430MHzではどのような電波伝搬をするのか楽しみでもありました。



今回のFOXは船橋市立教育センター（プラネタリウム館）の南側すぐ近くで、この場所はスタート地点よりも標高が8m高くなっており、スタート場所から直線で450m、最短ルート距離で680mの場所に設置しました。

練習会がスタートしてから、ハンターの皆さんがどちらの方面へ行くのか見ておりましたが、大部分のハンターはFOXの東方向へ進んだのですが、ハンター2名だけは全く逆の西方向へ向かいました。



FOX役は、今回もJL1CML局にお願いをしました。FOX装置もJL1CML局設計のFOX自動発信機により48秒発信/16秒休止のCW符号の繰り返しとしました。足元地面からは約1.5mの高さからホイップアンテナを使用して0.8W送信としました。

従来、FOX目印の番号札を使っていましたが、今回は昨年JARL千葉県支部の第1回フィールドミーティングでのFOXハンティングで初めて採用した順位紙片引きちぎり方式としました。

この方式は時間の記録は別の方法によらざるを得ませんが、ハンターにとってみれば自分が何番目でFOXを見つけたのかがその場でわかりますし、開催側としては終了

後に引きちれた紙片を回収することで順番の記録を簡単にすることができて便利です。

練習会の成績は下記のとおりですが、遠方の山武市から参加の JARL 千葉県支部非常通信幹事の 7M4MAS 局が初参加初優勝という結果になりました。また今回 2 回目の参加となった、同じく JARL 千葉県支部書記幹事の JA1FAS 局が第 2 位となりました。

JJ1YNA 常連メンバとしてはクラブ会長の JF1XPH 局が第 3 位という結果でした。ただし、上位の各局は探索において道路の分岐選択が少なかったことも起因し、スタートからほぼ同じ足並みで集団行動をしていたようで、その為、JL1CML 局が設計した FOX キャッチャー検出アラートが至近距離で鳴動してからの最後の最後の見極めで順位が決定するという本当に皆さんタッチの差でした。

<u>順位</u>	<u>CALL</u>
第 1 位	7M4MAS
第 2 位	JA1FAS
第 3 位	JF1XPH
第 4 位	JM1OMO
第 5 位	JO1ECR
第 6 位	JA2SWH
第 7 位	JG1DVY
リタイア	JS1MRW / 7L3QNB / 7N3WEJ

【特筆／考察】

今回 7M4MAS 局、JM1OMO 局の 2 名が初参加となり、FOX ハンティングの楽しさ、難しさを体感していただけののではと思っています。特に遠方の千葉県山武市から参加していただいた 7M4MAS 局は初参加で初優勝という快挙となりました。また、ご自身の設計で過去優勝実績のある「さすまたアンテナ」を更に改良して高性能化をはかり、自信満々で参加していただいた 7L3QNB 局が FOX を発見することができなかったという予想外の結果に終わりました。

スタートから迷わず FOX 方向へ向かい短時間で FOX を発見できているグループからは、電波は素直な方向から飛んで来たというレポートがある反面、アンテナの構造／性能による差異があったにせよ、全く反対方向に行ってしまった結果が災いしたようです。やはり 430MHz は一筋縄ではいかない難しさがあったものと感じています。

そして、これまで毎回記述している通り、受動的なアッテネッターや、アンテナ取り外し、周波数ズレしただけでの探索に



は限界があり、上位入賞には、やはり FOX キャッチャー／FOX チェイサーのような電界強度計のたぐいのツールを使用し至近距離でも確実に FOX を探索できるようにしないと上位入賞ができないということを改めて認識していただけたのではないのでしょうか。

【FOXハンターの皆さん】



【懇親会】

練習会終了後、サイゼリア船橋芝山店で成績発表と粗品の進呈を行い、参加者間の懇親を深めることができました。なお、懇親会での余剰金424円は JJ1YNA クラブ会計に寄付をさせていただきました。

次回第 10 回目は未定ですが、また何か新しい企画や検証を考えたいと思いますので、さらなる方向／発信場所探索技術力向上を目指して頑張りましょう。

【参考】

通販サイトで怪しいものを見つけて購入してみました。

Quelima RF GS Detector K18 という製品です。
まあ、一種の超広帯域電界強度計ですが感度調整により FOX ハンティングの最終の詰めに使えないかな？
と興味深々で購入してみたのですが、ちゃんと 2m/430 MHz のどちらにも反応しますし、至近距離にも使えました。ただし、超広帯域なので、3G/4G 携帯電話や WiFi ルータなど、各種無線電波を検出しますので、ある程度慣れは必要ですし、動作そのものが不安定な面がありました。

原理的にはこういう検出装置にバンドパスフィルターを付加し不要な電波には反応しないようになっているも



のが JL1CML 局設計の FOX キャッチャーですので明らかに優位性があります。
それにしても、この装置はそれ以外にも磁力検知プローブや隠しカメラのレンズを検出(?)
できるような仕組みがあったりもして、それで販売価格は 3,500 円弱ですから恐れいりま
す。海外の通販サイトには、類似の検出機が多数で回っていますので覗いてみるのも楽し
いものです。

<仕様>

検出周波数範囲： 1 MHz- 8,000 MHz

検出感度： $\leq 0.03\text{mV}$ (主周波数帯)

表示等： 10 連 LED インジケータと振動 (バイブレーション)

電源： 内蔵 3.7 v 1000 mA ポリマーリチウム電池 (充電時間は約 2.5 時間)

動作電流： 60~110 ミリアンペア連続動作 4~5 時間

製品重量： 150 グラム

商品サイズ： 12 x 5.6 x 2 cm

de JA7THE 遠藤